

水源環境保全・再生施策の総合的な評価ワークショップについて

1 趣旨

「第2期かながわ水源環境保全・再生実行5か年計画」が満了となる平成28年度には、水源環境保全・再生の取組は「かながわ水源環境保全・再生施策大綱」で定める全体計画期間20年間において、前半10年の節目を迎えることとなる。

このため、10年間の取組の成果と課題について一旦総括し、施策全体を総合的に評価（中間評価）し、その結果を県民に分かりやすく示して理解を得ながら、後半の10年に繋げる必要があることから、県民参加による中間評価の取組として、総合的な評価ワークショップを開催する。

2 開催概要（案）

(1) 方法・時期

- ・総合的な評価ワークショップ（平成27年7月（予定））
- ・関連ワークショップ（総合的な評価ワークショップの前後に開催予定）

(2) 主な参加者

- ・水源環境保全・再生かながわ県民会議
- ・市民団体（市民事業支援補助金の活動団体や水源地域で豊富な活動実績を有する団体等）
- ・水源環境保全・再生の取組と関わりのある有識者（丹沢大山自然再生委員会、県民会議委員経験者等）
- ・事業関係者（森林組合等）

(3) 総合的な評価ワークショップの構成

- ・（案1）全体会のみ実施、（案2）全体会・分科会（森林関係、水関係など）により実施。

① 事業実施者による事業実績・評価のプレゼンテーション

- ・各事業評価の流れ図（構造図）に基づく評価体系に沿って実施する。

⇒【資料2-2】水源環境保全・再生施策の総合的な評価（中間評価）に向けた報告書（案）

② 基調講演

全体会又は分科会において、水源環境・保全再生の取組と関わりのある有識者・団体や、水源地域で豊富な活動実績を有するNPO団体等を講師とし、施策の評価につながるような話題提供をしてもらう。

③ 討議

評価アピールの作成を念頭に、各事業の実績及び量的・質的指標の観点から、施策の前半10年間に対してどのように評価するかを検討するとともに、後半に向けての期待・要望等について意見集約を図る。

④ 評価アピールの作成・発表

討議の結果などを踏まえ、県民会議等による評価アピールを作成し、発表する。

水源環境保全・再生施策の総合的な評価について

施策評価のロードマップ骨子

